

70代以上の9人に1人が罹患しているとされる緑内障。自覚症状がない患者も多く、末期になるまで気づかないこともあるといえます。原因や治療法、対策などについて専門医に聞きました。

開放隅角緑内障



金森章泰医師

緑内障は、眼球の奥にある視神経の線維が減少して、見える範囲(視野)が少しずつ慢性的に狭くなる病気です。かなり悪

まずは点眼薬で眼圧下げて

い状態だと視力がなくなることもあります。

眼圧(目の圧力)によって視神経が押し込まれて神経が傷むことで発症します。失われた視神経は改善したり再生したりすることはありません。

緑内障は大きく二つに分けられ、目の中の水(房水)の流れ

道(隅角)が開いているタイプ(開放隅角)と、流れ道が狭い、もしくはふさがっているタイプ(閉塞隅角)があります。

ここでは日本人の緑内障の大部分を占める開放隅角に絞って説明します。

緑内障では、眼圧を下げるのが唯一の治療法です。日常生活

配合点眼薬もあり、点眼回数を減らすことができます。

コントロール不良の場合は、レーザー治療や手術治療を行います。

レーザー治療だと合併症はほとんどないのですが、効果が弱く、いわゆる手術が必要になる場合もあります。手術室で行う緑内障手術は何種類かあ

能性が高いので、悪くなる状況を放置するよりは適切な時期に手術を受ける方がベストのこともあります。

(兵庫県眼科医会、金森章泰 明石市、かなもり眼科クリニック院長) ◇第1、3、4日曜に掲載します。

活で気をつけることや、してはいけないことはありません。

開放隅角緑内障の治療としては、まず眼圧を下げる点眼薬を主に使います。現在は主に8種類の緑内障点眼薬があり、眼圧を下げる力や副作用などを考

え、どの点眼薬がよいかを判断します。2種類の成分が入った

り、視野の状況や眼圧、年齢などを考慮して最適な手術法を選択します。近年、低侵襲緑内障手術と言われる負担の少ない手術も登場し、選択肢が増えることによりよい治療が可能になっていきます。

手術により眼圧を下げることで、病状の悪化が抑えられる可